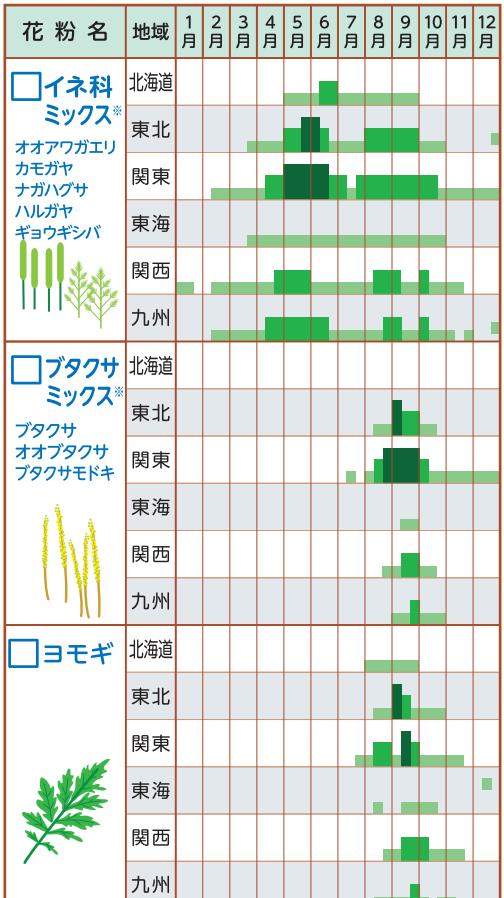
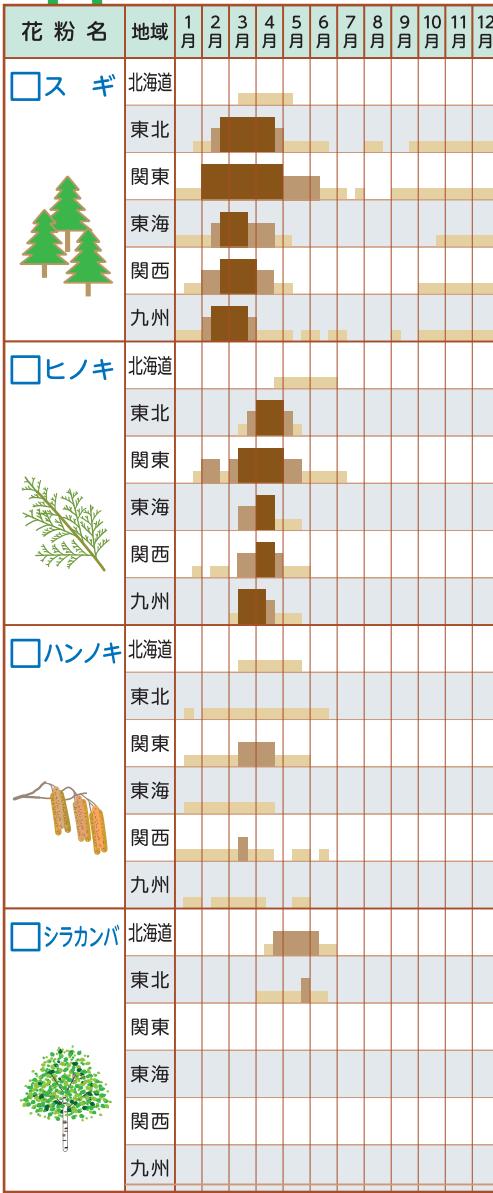


監修：東京大学名誉教授 宮本昭正先生

検査結果報告書をもとに、症状やアレルゲン項目に チェックをしてみましょう。

季節性アレルゲン ~ 主な花粉症原因植物の開花期~



※ ■は木本の花粉、■は草本の花粉

出典：鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版(改訂第8版)改変

通年性アレルゲン

家 庫	<input type="checkbox"/> ハウスダスト	掃除、換気をこまめにしましょう。
	<input type="checkbox"/> ダニミックス*	<発生しやすい場所> ソファー・ぬいぐるみ・畳・カーペットなど
カ ビ	<input type="checkbox"/> アスペルギルス	換気をこまめにしましょう。
	<input type="checkbox"/> カンジダ <input type="checkbox"/> カビミックス*	<発生しやすい場所> ・浴室・洗面所・台所などの水周り ・押入れ・下駄箱などの湿気の多いところ
ペ ッ ト	<input type="checkbox"/> イヌ・ネコ皮屑ミックス*	飼育する場合は、ゲージの掃除や、 触った後の手洗いなどを徹底しましょう。
	<input type="checkbox"/> イヌ ネコ	
そ の 他	<input type="checkbox"/> ラテックス	輪ゴムやゴム手袋などに使用されます。 「ラテックスフリー」のゴム製品を使用しましょう。

対処法

「アレルゲンを吸い込まない」ことが、最も重要な対処法です。室内の清掃・換気、外出時のマスク・メガネの装着でアレルゲンの吸入を回避しましょう。

花粉症の人は野菜・果物にも注意？

花粉症患者が野菜や果物を食べた際に、口を中心にアレルギー症状が出ることがあり、このような疾患を「PFAS(花粉・食物アレルギー症候群)」といいます。

花 粉	花粉と関連のある食物
スギ・ヒノキ	トマト
ハンノキ・シラカンバ	モモ、ダイズ 等
症 状	唇・口・のど などが「かゆい」「腫れる」「皮膚症状」「気管支喘息症状」など

※「○○ミックス」ってなに？

1項目に複数のアレルゲンが含まれています。

各アレルゲンの結果は出ませんが、幅広い情報を入手することができます。

結果の考え方	
陽 性	全てまたは一部のアレルゲンで陽性です。 必要に応じて、単項目検査などを行いましょう。
陰 性	ミックスされている全てのアレルゲンが陰性となります。

検査結果報告書をもとに、症状やアレルゲン項目に✓チェックをしてみましょう。

食物アレルギーの主な症状

眼	<input type="checkbox"/> 充血 <input type="checkbox"/> 眼のまわりのかゆみ <input type="checkbox"/> 涙目
口腔・口唇・舌	<input type="checkbox"/> 違和感 <input type="checkbox"/> はれ
消化器症状	<input type="checkbox"/> 気持ちが悪い <input type="checkbox"/> 吐き気・嘔吐 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 血便
皮膚	<input type="checkbox"/> かゆみ <input type="checkbox"/> 赤くなる <input type="checkbox"/> むくみ <input type="checkbox"/> 莖麻疹 <input type="checkbox"/> 湿疹
神経症状	<input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 元気がない <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿・便を漏らす
呼吸器症状	<input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> 鼻づまり・鼻水 <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> 喘鳴(ゼーゼー・ヒューヒュー) <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> のどの違和感
循環器症状	<input type="checkbox"/> 血圧低下 <input type="checkbox"/> 脈が速い、触れにくい、乱れる <input type="checkbox"/> 手足が冷たい <input type="checkbox"/> チアノーゼ(唇・爪が青白い)
全身症状	<input type="checkbox"/> アナフィラキシー

アレルギーの最終的な診断は、関連する他の検査結果や、臨床症状に基づいた医師の総合的な判断が必要となります。検査結果が陽性の場合、必要に応じて医師に相談しましょう。

特定原材料7品目と表示義務

食物アレルギーを引き起こす食物のうち、卵・ミルク・小麦・ソバ・ピーナッツ・エビ・カニは、症状の重篤度、患者数の多い食物で、特定原材料といいます。
これら7品目が含まれる食品には、法令により表示が義務づけられています。
特定原材料7品目にアレルギーを持っている方は、食品のパッケージ等を注意してみるようにしましょう。

赤字は特定原材料7品目

は乳幼児期の発生頻度が高い食物

卵 ミルク	<input type="checkbox"/> 卵白 <input type="checkbox"/> オボムコイド	 	オボムコイドは卵白に含まれているタンパク質の1つです。加熱してもアレルゲン性を失わない性質を持っていますが、卵白が陽性でも、オボムコイドが陰性の場合、加熱した卵は食べられる可能性があります。
	<input type="checkbox"/> ミルク		卵を含む主な食品：マヨネーズ、衣揚げ(天ぷら、フライなどの揚げ物)、肉加工品(ハムなど)、菓子類(プリン、ケーキなど)
			ミルクを含む主な食品：乳製品(ヨーグルト、バター、チーズなど)、菓子類(ケーキ、クッキー、チョコレートなど)
穀物 ナッツ	<input type="checkbox"/> 小麦 <input type="checkbox"/> ソバ <input type="checkbox"/> コメ <input type="checkbox"/> ダイズ <input type="checkbox"/> ピーナッツ <input type="checkbox"/> ゴマ <input type="checkbox"/> 木の実ミックス* ヘーゼルナッツ アーモンド くるみ		小麦を含む主な食品：パン、麺類、衣揚げ(天ぷら、フライなどの揚げ物)、菓子類(ケーキ、クッキーなど)
			ソバ、ピーナッツはアナフィラキシーなどのショック症状を起こすリスクが高い食物です。
魚類 甲殻類	<input type="checkbox"/> サバ <input type="checkbox"/> マグロ <input type="checkbox"/> サケ <input type="checkbox"/> エビ <input type="checkbox"/> カニ		比較的、成人における発生頻度が高く、複数の魚類に反応する可能性があります。
			アナフィラキシーなどのショック症状を起こすリスクが高い食物です。
肉類	<input type="checkbox"/> 豚肉 <input type="checkbox"/> 牛肉 <input type="checkbox"/> 鶏肉		一般的に、肉類のアレルギーの発生頻度は少なく、また加熱をすることで摂取できる可能性があります。
果物 野菜	<input type="checkbox"/> トマト <input type="checkbox"/> モモ <input type="checkbox"/> バナナ <input type="checkbox"/> キウイ		スギやヒノキ花粉症の方がトマトを食べると、口がかゆくなることがあります。 またハンノキやシラカンバ花粉症の方が、モモを食べると、同様の症状がでることがあります。 ラテックスアレルギーの方は果物でアレルギー反応を示す場合があります。